

成功体験が
自信となって
大きな成長に。



大学4年間に経験する
すべての出来事は、
凝縮された人生の縮図。

雰囲気の良いはピカイチ。
仲間との強い絆が力に。

関大で 空手をした 21人の声

強くなると決意して入部。
いざ東京五輪へ!!



FACILITY

施設・練習環境

「効率の良い練習を行うために」

阪急千里山線・千里山駅から徒歩8分。空手道部専用の道場「千秀館道場」があります。コート約1.5倍の広さを誇る道場は、冷暖房が完備され、練習に集中できる環境が整っています。年に数回、プロのスポーツトレーナーを招き、科学的なアプローチからのトレーニング指導を受けているほか、効果的な栄養・サプリメントの摂取法などの指導も受けています。



「勉強をおろそかにしないために」

空手道部の部員である前に、関西大学の学生であるということを重視し、文武両道の活動を目指しています。春学期・秋学期の定期試験前には練習のオフ期間を設けるだけでなく、顧問の先生の協力を仰ぎ、学内の会議室を借りて勉強会を開いています。この勉強会では部員同士の情報交換を行うと共に、指導陣も出席し、試験勉強をフォローしています。

「社会で活躍する人材輩出のために」

歴史ある空手道部からは毎年、多くの優秀な人材が社会に出て、それぞれの場で活躍しています。関西大学の職員である指導陣を中心に、3年次に各々の進路希望を確認。4年次には、その希望先に応じてOB・OGに連絡を取り、就職相談に乗っていただいたり、大学のキャリアセンターに相談し、面接のアドバイスや練習も行っています。

主な就職先

- 東京三菱銀行
- LIXIL
- ミキハウス
- 司法書士
- 三井住友銀行
- パナソニック
- JTB
- 関西大学職員
- りそな銀行
- 三菱電機
- 関西電力
- 高校教諭
- 損害保険ジャパン
- 大和ハウス工業
- NTT
- 警察本部
- 明治安田生命
- 竹中工務店
- 南海電鉄
- 公務員

<http://kukarate.com/>

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号



関西大学体育会空手道部

KANSAI UNIVERSITY KARATEDO CLUB

お問い合わせはこちらまで
webmaster@kukarate.com
TEL080-5339-0377 鍛島(カシマ)

MISSION

めざす使命

礼節を重んじた 心身ともに健全な人材の育成

大学での空手道の修練を通して、礼儀を体得するとともに心身を鍛え、将来、社会に出て活躍できる人材の育成を目指しています。

《基本方針》

1) バランス 人として「全てにおいてバランスよく」

本クラブでは、あらゆる局面において、「バランス」を非常に重要視しています。空手道における心・技・体の修得はもちろん、真の文武両道を目指しています。

2) 協調性 チームを大切にし、何をすべきかを「自ら考え、行動する」

我々の目指す目標は、団体戦で日本一になること。そのためには、その目標を理解し、チームが勝つために何をすべきかを部員一人ひとりが自ら考え、行動してもらう必要があります。

3) 礼儀・規律 「礼に始まり礼に終わる」、礼節を重んじる

体育会空手道部という組織に所属し、組織の秩序を守るため、礼儀は欠かせません。また、武道の精神である「礼に始まり礼に終わる」を重んじ、生涯の財産となるような礼儀正しい節度ある人格の確立を目指しています。



OB・OG会長
森隆

昭和61年卒
関西大学第一高等学校出身
四天王寺学園 英語科 教諭
指導歴

東大阪柏原高校 空手道部顧問(昭和61年～平成3年)
四天王寺羽曳丘中高 空手道部顧問(平成4年～29年)
関西大学 空手道部コーチ(平成元年～5年)
関西大学 空手道部監督(平成6年～12年)

資格

全日本空手道連盟公認5段
地区組手審判員
日本体育協会スポーツ指導員

指導方針

考える力を磨くことで 強くなる!

空手の練習を通じて、辛い時でも諦めず自分に厳しくなれる精神的な強さを、また、先輩・後輩の上下関係からは、礼儀や気遣い、上級生としての責任感を身に着けて欲しいと考えています。さまざまな体験を積み重ね、4年間の部活動を終える頃には、壁を乗り越えた先にこそ、自らの成長があるということを実感できるでしょう。監督として一言伝えたいことは、「言われたことだけをこなすのではなく、自らが考え、工夫

しながら練習すること」です。上級生を中心に、学生自らが部を運営できるような主体性のあるチームを作り上げていけるような指導・サポートを心がけています。考える力を磨くことは、おのずと空手の技術向上につながり、人としての強さに昇華します。伝統ある関西大学空手道部が、『社会で羽ばたける人材が育つ空手道部』としてこれからも歴史を刻んでいけるよう監督・コーチが一丸となって指導にあたっています。

STAFF

指導陣



監督
日下 真一

関西大学第一高等学校 出身
学校法人四天王寺学園
四天王寺高等学校・中学校
財務課 経理係 主任



コーチ
鍛島 宗範

京都外大西高等学校 出身
学校法人関西大学 職員

主な戦績

高校選抜 準優勝
全日本大学 ベスト8



コーチ
宮田 将

京都外大西高等学校 出身
学校法人関西大学 職員

主な戦績

インターハイ 準優勝
全日本大学 ベスト8



コーチ
小出 翔太

浪速高等学校 出身
学校法人関西大学 職員

主な戦績

高校選抜 ベスト8
インターハイ 3位
全関西個人 -75kg 優勝
全関西個人 -67kg 準優勝
全日本大学 ベスト8



藤田 育恵

東大阪大学敬愛高等学校 出身
ホリアキ株式会社 営業

主な戦績

高校選抜 優勝
インターハイ ベスト8
全関西団体 3位
全関西個人 -55kg 3位



高橋 凌

宮崎第一高等学校 出身
学校法人関西大学 職員

主な戦績

インターハイ 優勝
全関西個人 +75kg 準優勝
全関西団体 3位

VOICE

空手道部を卒業した21人の声

コーチの声

入部の決め手は 勉学との両立。

高校空手部で良い戦績を残せたこともあり、いくつかの大学から推薦のお声掛けをいただいていた。当初は強豪校への進学を検討していましたが、勉学と空手を両立できる関西大学に進学し、強豪校を倒した方がよりやりがいがあると考え、関大空手道部に入部しました。

大学では高校時代と違って、こなすだけの練習をしては現状維持が精一杯だと感じ、練習に取り組む姿勢を改めました。自らの課題を理解・分析し、徹底的に改善するという課題解決のための取り組みを繰り返し行った結果、パフォーマンスの向上を図ることができました。

平成25年卒 小出 翔太
浪速高等学校 出身
学校法人関西大学 職員



コーチの声

雰囲気の良いピカイチ。 仲間との強い絆が力に。

高校で味わった日本一の感動や喜びを、この部の先輩方と一緒に再び目指したいと思って入部しました。現役時代、伸び悩んでいる時やスランプになった時、練習に付き合ってくれたり、同じ目線でアドバイスをしてくれたコーチや先輩にいつも支えられました。そのおかげでレギュラーに入ることができ、試合にも出られるようになりました。苦楽を共にした仲

間とは、卒業後も変わらぬ交流が続いています。今後も空手道部の一員として何事にも全力で取り組み、できることを一つでも増やせるよう、自らの経験を活かした助けができればと思っています。



平成26年卒 藤田 育恵
東大阪大学敬愛高等学校 出身
ホリアキ株式会社 営業

コーチの声

練習中は闘争本能剥き出しでも、 オンとオフの切り替えはメリハリよく。

高校時代に成し遂げることができなかった「日本一」という目標を達成するため、入部しました。残念ながら目標を達成することはできませんでしたが、4年間という長いようで短い学生生活において、目標に向かって勇往邁進できたのは、監督、指導者およびチームメートの支えは然ることながら、入部前に掲げた高い志があったからだと思っています。練習中は全員が闘争本能剥き出しですが、練習が終わればみんな仲間が良く、先輩や後輩、同期と食事に行っ

たり、遠征先の狭い風呂に箱詰め状態で入浴したことは良い思い出です。現在はコーチとして、「自ら考え行動する力、すなわち“考動力”」を醸成することが肝要だと考え指導しています。大学生活では誰かの答えを待つのではなく、自ら答えを導き出さなくてはなりません。目標達成までの過程において、何事にも主体的、かつ誠実に取り組める人間形成を目指します。入部するかを迷っているあなた、その一歩の考動力が人生の分岐点かもしれません。

平成21年卒 宮田 将
京都外大西高等学校 出身
学校法人関西大学 職員



卒業生の声

大学4年間に経験する すべての出来事は、 凝縮された人生の縮図。

関大一高の出身で、高校時代も空手道部に所属していました。高校時代には思うような戦績が残せず、悔いが残る結果となったため、進学後も空手道部に入部しました。高校とは次元の違う大学の体育会に身を置くことで、自己の精神力と体力の限界を知るために挑戦したいという思いもありました。上下関係の厳しい体育会において、時には理不尽と感じることもありましたが、先輩に対する接し方、後輩育成のあり方などを徹底的に学びました。当然、空手を通じて体力、精神力、集中力も鍛えられました。大学の4年間は理不尽な出来事も含め

て凝縮された人生の縮図であり、今でもそれらが私自身の根幹であり、すべてと言っても過言ではありません。ここでの経験が今の自信につながっています。現在はLIXILの関西PJ支店長という立場に身を置いています。社会で仕事をする上では知力もさることながら、体力も重要な要素。部活を通じて培われた基礎体力が、現在の営業という仕事に活かされています。空手の間合いの取り方や技を出すタイミングは、人と接する上での距離感と接し方に通じるものがあります。空手を通じて習得したことは、非常に大きく影響していると思います。

平成3年卒 金岡 寛之
関西大学第一高等学校 出身
株式会社LIXIL 関西PJ支店 支店長



卒業生の声

「文武両道」で、 空手以外のことに チャレンジできる環境。

大学生生活の4年間は好きな空手だけをするだけでなく、これからの将来のことも考えて過ごしたい、と進学先を模索する中で、それが可能なのは関大だと思いました。また、高校の先輩が関大空手道部で活躍する姿を見て、「私もまた先輩と一緒に戦いたい、優勝を目指したい」と感じ、「文武両道」を大切にしている部の方針に惹かれて入部を決めました。部活動では自分の何が課題で、克服するためにはどうしたらよいかを考え練習に取り組むことができ、「自ら考え、行動する」ことを学びました。目標や課題を持ちながら練習することで、たくさんの気づきもありました。1人では解決できない問題に直面

した時には、監督やコーチからアドバイスをいただき、共に試行錯誤しました。関大空手道部の魅力は、練習中は真剣に、練習後は仲良く、先輩・後輩の垣根なく、とても良い関係性が築けていることです。現在は大和ハウス工業で管理部経理課に所属し、細やかさと正確性が問われる業務を担当しています。繁忙期の膨大な仕事量を、決められた時間の中でどうしたら効率よく進められるか、日々、業務改善をしながら過ごしています。部活動で短期集中して取り組むことを体験し、よりよくなるために考え、実践することの大切さを学びましたが、それが現在の仕事でも活かされていると思います。

平成24年卒 加藤 智弘
東大阪大学敬愛高等学校 出身
大和ハウス工業株式会社
新潟支社 管理部経理課 一般職



卒業生の声

心身の強さと攻めの姿勢を学び、 社会に貢献できる トップリーダーに育って欲しい。

入部当時は、昭和49年の試合のボイント制への移行時期で、学生運動の影響もあり、2・3年生共に部員は1名だけという危機的状況。そんな中、同級生4名で関大の伝統である強い空手を継承しつつも、時代の変化に応じた空手に改革した結果、徐々に部員が増加して試合にも勝てるようになりました。我々の卒業後も、監督、コーチ、空手道部員の献身的な努力で伝統ある関大空手道部が継承され、歴史の1ページを飾ったことは感慨深いものがあります。現在は化学会社の部長職として各種

体の役員に就任し、社会貢献事業を中心とした業務に従事していますが、前職の京都府警察では、警察署長や本部の部長に就任、誇りと使命感を持って国家、国民に奉仕しました。関大空手道部での経験が、心身の強さや逆境でも逃げずに常に攻めの姿勢で業務に取り組むことに活かされ、トップリーダーとして指揮を執り、多くの部下を育成できたことに誇りを持っています。皆様には、是非とも関大空手道部に入学して心身を鍛え、社会に貢献できる人材に育っていただきたいと願っています。

昭和53年卒 松本 明弘
関西大学第一高等学校 出身
三洋化成工業株式会社 地域社会部長

卒業生の声

すべては「五誓」の教えにあり。

大学卒業後は損害保険日本興亜に入社。介護事業に3年前に進出することが決定し、その開拓部門のメンバーに選出され、現在は有料老人ホーム300施設を担当する執行役員です。保険会社も介護会社も、基本は「人」です。空手道は個人競技ですが、力を発揮するためには辛い時や悩んだ時に支え合える仲間が存在が不可欠です。部活動で学んだ仲間の大切さ、チームワークの

大切さが今の仕事に活かされています。また、諸先輩方、同回生、後輩との交流の中で、「人として」「社会人として」のあり方も教わりました。一、至誠に悖ることなし。一、言行に恥ずることなし。一、気力に欠けることなし。一、努力に憾むことなし。一、無精に亘ることなし。合宿最終日や引退の日に唱和した「五誓」は、私の人生の行動規範となる大切な言葉です。

平成7年卒 鷺見 隆充
鹿児島県立錦江湾高等学校 出身
損害保険ジャパン日本興亜株式会社 部長
(SOMPOケアメッセージ株式会社・
SOMPOケアネクスト株式会社
執行役員施設事業本部副本部長)



卒業生の声

大学から 空手を始めた仲間も多く、 温かな雰囲気が魅力。

空手名門校出身者ばかりが集う関大空手道部のレベルについていけるのかとても不安で、正式な入部までにはできるだけ体力づくりをしよう、高校の部活動を引退した後も必死で毎日ランニングをしていたことを覚えています。いざ入部してみると、大学から空手を始めた先輩や未経験の同期もたくさんおり、部の雰囲気はとても温かいものでした。高校とは違う自由な環境の中で私が最も学んだことは、主体性を持って取り組むことの大切さです。社会人になった

今、辛い時でも前向きに、かつ主体的に仕事に取り組めるのは、この経験があったからこそ。日々の鍛錬の中で「自身で考え行動する」ことを学びました。そこにはいつも、空手以外の相談にも乗ってくれる監督・コーチ・OBの先輩方の支えがあり、その温かい雰囲気が関大空手道部の魅力だと感じています。



平成28年卒 郡市 宗太郎
関西大学第一高等学校 出身
関西電力株式会社

卒業生の声

正しく立ち、動く。 その基本が大切。

指定校推薦で、空手をするために関西大学へ入学しました。入学前から合宿に参加し、先輩方と一緒に練習を経験し、高校とのレベルの差・迫力の違いを感じたことを覚えています。本格的な基礎トレーニングに取り組んだことで体力・持久力がつき、型の精度も高まりました。高校までは型専門でしたが、当時の関大空手道部は組手中心の練習だったため、大学からは組手にも力を入れ、試合で入賞できたことは大きな自信になりました。合宿ではそれまで経験したことのない練習量と筋肉痛で毎日朝を迎えるのがかなり辛かったのですが、乗り越えた時の達成感、チームの一体感、最終日にみんなで食べた焼き鳥の味は忘れられません。今は2人の子育てに奮闘中です！相手を思いやる気持ち、礼儀、作法など空

手道部での経験は子育てにも活かされています。大学へ指導に行かせていただくのは年に数回ですが、そこで心がけているのは基本の重要性です。正しく立ち、動くことが組手や型の質を上げることに繋がると思うので、一から細かく指導するようにしています。現在の関西大学は型の選手も多く在籍し、組手と型はそれぞれ分かれて練習をしているので、型の練習時間ももしっかり確保できています。目標に向かって、仲間と一緒に楽しく全力で4年間を過ごして欲しいです。その先には、必ず勝利が待っていますよ！

平成17年卒 濱口(旧姓:稲田) 有紀子
四天王寺高等学校 出身
専業主婦



卒業生の声

諦めない精神力は 仲間から教わった。

高校入学時から関西大学への進学を考えていました。もちろん、小学校1年生から続けてきた空手を大学の4年間でやり遂げたいとも思っていました。1人では自分に甘くなり、練習など手を抜いてしまうことがあります。個々にプライドと目標を持った仲間たちが集う部に身を置くことで、仲間の大切さを日々感じながら「自分もがんばろう」と

と思い、練習に取り組むことができました。現在、私は高校の教師をしています。生徒たちと向き合う日々の中で、忍耐力がある仕事だと実感しています。成果はすぐには出ない、正解の分からない仕事ですが、きっちり最後まで生徒たちと向き合い、諦めずに接する。空手道部で鍛えられた精神力が、現在活かされていると感じています。

平成28年卒 堀庭 混平
関西大学第一高等学校 出身
大阪府立堺上高等学校 教諭



卒業生の声

実力は平凡。でも、 入部したからこそ手に入れられた 特別なものがある。

高校時代も空手道部に所属しており、先輩からの誘いを断りきれず、やむなく入部しました。実力もパツとなかったため、辛いことも多く、逃げ出してしまうこともありました。何の実績も残していませんが、武士道・礼儀は自然に身につく、社会に出る前に得られるものがたくさんありました。同じ時間を過ごした仲間とは今でもつながっており、先輩・同期・

後輩との絆は公私共に活かされています。今となれば、もっと一所懸命に取り組めばよかったと後悔するほど。人生にスポーツは必要ではありませんし、スポーツをしなくても良い人生を送ることができます。しかし、皆がする訳でないスポーツに一所懸命に取り組む、努力するが故に、誰しもが得られない経験や仲間、能力を得ることができると思うのです。

平成6年卒 重吉 豊行
関西大学第一高等学校 出身
株式会社創味食品 課長



卒業生の声

「地元に戻って警察官になる」。 その思いを叶えるために選んだ道。

小・中・高と空手を続けてきた中で、空手で勝つことの楽しさや難しさを知りました。空手の素晴らしい感触に触れ、生涯をかけて空手を極め、自身の成長につなげたいという思いから、大学でも空手道部に入部しました。将来は地元に戻り、警察官として空手を役立てたいという思いもありました。大学では組織的な練習に加え、自主的な練習にも積極的に取り組みました。空手の名門校出身の選手も多く、強い選手と実際に練習し、強豪校で実践されてい

る練習メニューをこなすことで、高校時代には発見できなかった自分の弱点や課題を克服し、成長することができました。卒業後は地元である宮崎に戻り、宮崎県警察に勤めています。警察官は常に市民の安全を確保し、人々を守り抜かねばならない厳しい職業です。時には危険な現場対応もあり、逃げ出してしまうこともあるかもしれませんが、関大空手道部での厳しくも充実した4年間を経験したおかげで、頑張り抜くことができていると感じています。

平成29年卒 松本 裕也
宮崎第一高等学校 出身
宮崎県警察



コーチの声

仲間と共に前向きに突き進んだ時間は、 人生においてかけがえのないものになる。

部活動では3つのことを学びました。1つ目は「自分は生かされている」ということ。両親をはじめ、同期や諸先輩、後輩たちの支えがあったからこそ、4年間の学生生活を充実させることができたこと、心から感謝しています。2つ目は「基本の重要性」です。何事も基本を大切にすることで発展があります。合宿では、基本の突きと蹴りを数百単位で行いました。その結果、組手の突きや蹴りを技として発展させて繰り出せるようになりました。社会人になり、仕事をしながらでも基本の心構えや姿勢を大切にすることで、自分ならではのスタイルが身につくと思っています。空手道部での基本練習が社会人としての基本の学びにつながったことは大きな成果です。3つ目は「考えることの重要性」です。試合に勝てない時、調子が上が

らない時には、原因を考えて自分なりの改善を行いました。仕事ではやるべきことが多数存在する中で、どうすれば目標に向かって実行できるかを常に考えて行動しなくてはなりません。試行錯誤して取り組む姿勢は、空手道を通じて学べたと思っています。空手道部での4年間、約1500日を試合に勝つという目標に向かって仲間と一緒に歩んでいく時間は、かけがえのない時間であり、貴重な経験になります。同じ時間を過ごすのであれば、後ろ向きに過ごすのではなく、自分なりに目標を立て、前向きに考えて動いて欲しいです。本当の意味で4年間頑張った学生は、その後の人生の約22000日も充実させることができるでしょう。勝利という結果に拘ることはもちろんですが、プロセスを大切に日々を過ごして欲しいです。

平成19年卒 鍛島 宗範
京都外大西高等学校 出身
学校法人関西大学 職員



卒業生の声

変化を恐れずに 新しい手法を取り入れる勇氣。

全国さまざまな環境で厳しい練習を重ねてきたメンバーから、自分がこれまで培ってきたやり方や考え方が必ずしも正しいものではないということを教わりました。大学の4年間で自分のやり方や考え方を考え、新しい手法を取り入れることで、これまでになかった発見や成長を得ることができました。考え方がバラバラなメンバーが同じ目標に向かって「ひとつ」になることの難しさと大切さ。だからこそ、「ひとつ」になれた時の達成感や喜びは言葉に尽くせないものがあり

ます。卒業後は国内の動画配信事業者での営業経験を経て、現在は外資系のクラウドサービスプロバイダーで、営業を担当しています。女性営業は私1人ですが、空手道部で培った負けん気や忍耐力が、外資系ならではの目標にコミットする働き方に役立っていると思います。できない時、や調子が悪い時に何ができるのか？何をすれば良いのか？を考えて実行する力は、空手道部で学んだことの一つで、社会人となった今もしっかりと活かされています。

平成22年卒 越田(旧姓：市川) 恵理
関西大学第一高等学校 出身
ブライトコープ株式会社
デジタルマーケティング アカウントマネージャー

卒業生の声

歴史ある関大空手道部。 伸び伸びと空手道に打ち込める、 充実した施設環境。

関大空手道部は、学業面に対する理解があり、教職課程を取ろうとしていた私にとっては文武両道を目指す最良の環境でした。コート1.5面分以上の広さを有する冷暖房完備の専用道場があり、練習環境も充実。先輩・後輩の関わりがとても良く、伸び伸びとした良い雰囲気の中で空手に打ち込める環境が整っています。また、部の歴史は深く、1つ、2つ上の先輩だけでなく、人生経験豊富な大先輩からさまざまなことを教わることができ、社会に出るからその経験が活かされています。現在は私立高校の教員となり、空手道部の顧問をし

ています。在学時に主将を任せられ、チーム全員が同じ目標に向かうよう各々への声掛けや練習での雰囲気づくりなどを心がけて実践していた経験が、現在の部活動の指導でも役立っています。1人では練習が成り立たず、楽しさも感じられませんが、仲間と団結して練習すれば厳しい練習も乗り切れるし、厳しさの中で楽しさを見いだせます。これこそが部活動の魅力だと思います。



平成27年卒 長谷川 裕介
東洋大学附属牛久高等学校 出身
神港学園高等学校 教諭

卒業生の声

卒業から 二十年以上が経った今も 全く変わることはない 先輩・後輩の強い結びつき。

「関西大学」の名前が胸に入った道着に憧れて入部しました。基礎・基本の稽古を大切にしている関大空手道部。地味で苦しい日々でしたが、基礎・基本がすべての物事の土台となり、その先につながることを学びました。現在は司法書士として事務所を経営しています。卒業後、国家試験合格に向けて地道に勉強に打ち込めたこと、新人時代にひたむき

に仕事に取り組めたことは、空手道部で基礎・基本が大事であることを学んだからこそ。管理職、経営者となった今、マネジメントをする上での素地も、学生自治による組織運営の経験で培ったものです。関大空手道部の先輩・後輩の結びつきはとて強く、卒業して二十数年が経つ今も、仕事上で先輩や同期にご協力いただくこともあるほどです。

平成11年卒 岡部 幸司
東京都立文京高等学校 出身
司法書士岡部事務所 所長



卒業生の声

強くなると決意して入部。 いざ東京五輪へ!!

先輩の背中を追って、先輩のように強くなると決意しての入部でした。高校生とは違い、大学生になると大人の一步仲間入りですので、自主性が大切になってきます。どんな環境でも成長するために何が大切になるのかを自分で考えて、行動に移すことが大事だと学びました。東京五輪を目指す今は、空

手が仕事のようなもの。勝たなければいけないという責任も大きいですが、関大空手道部で培ったものを更に伸ばしていきたいです。



平成28年卒 清水 希容
東大阪大学敬愛高等学校 出身
三起商行株式会社(ミキハウス) 競技部

卒業生の声

理系で空手未経験。 不安の先には一生の仲間がいた。

小・中・高とスポーツをしていたので、大学でも何かスポーツをしたいと思っていましたが、空手は未経験でした。格闘技に向いているとも思えず、正直なところなぜ入部したのか、今でも謎です。工学部だったので時間的にも部活動は厳しいと思いましたが、勧誘していただいた先輩方の印象がとても良く、「仲間になりたい」と強く思って入部を決意しました。華やかな学生生活を送る学生が多い中、厳しい道を選んだかもしませんが、先

輩・後輩に恵まれ、一生の仲間を手に入れることができました。社会人になる上で必要な礼儀や人間関係の大切さも学べました。現在はブランドの制御用コンピュータや環境分析装置の営業を担当しています。さすがに空手が仕事に活かされることはありませんが(笑)、営業でするので社内外問わずコミュニケーションが重要です。空手道部で培った経験を活かし、相手のことを慮って会話をし、お客様に好かれる営業を目指しています。

平成12年卒 本間 健一
岡山県立笠岡高等学校 出身
株式会社日立ハイテクソリューションズ
計装システム営業本部 計装システム一部 2課係長



卒業生の声

縦社会の中で担うべき立場を、 それぞれのステージで学べるのが 部活動の良いところ。

高校時代に観戦した全日本学生個人選手権での熱い試合に刺激され、自分もチャンピオンになりたいという強い意志を持って入部しました。1年生時は下積みの経験、2年生からは先輩への気遣いと自身の鍛錬、3年生からは次の幹部を見据えて部をまとめつつ、自身の更なる力の向上に努めました。4年生時はリーダーシップの取り方や勝ちへの追求に邁進。部活動の良い点

は、1年から4年まで多様なシチュエーションに応じて、自身の学びをステップアップしていけることです。これは実社会において、大いに役立つ経験です。現在、関大空手道部の総監督を任命されていますが、東京在住のため、なかなか足を運ぶことができないのが気がかりな点です。それでも、頼ってもらえる限りは「恩返し」の気持ちで、精一杯務めていきたいと思っています。

昭和44年卒 津田 圭輔
関西大学第一高等学校 出身
南洋トレーディング株式会社 代表取締役

卒業生の声

成功体験が自信となって 大きな成長に。

学業、部活共に高いレベルの環境に身を置くことで、将来、どんなライバルが現れたとしても、どんな困難にも負けない地力が備わると考えて入部しました。高校時代にセンバツ準優勝、インターハイ3位の実績がありましたが、最初のレギュラー選考会では先輩方に全く歯が立たず、入学早々に挫折を経験しました。しかし、そこで諦めずパワー不足の課題を分析し、大学レベルで通用するパワーを身につけるためのウエイトトレーニングを実践。1年の秋からレギュラー入りし、中心メンバーとして20年ぶりの関西3位、全国ベスト8に貢献

することができました。愚直に鍛錬を重ね、本番で最高のパフォーマンスを發揮する成功体験を得られたことは、その後の人生における大きな自信となりました。現在は銀行で法人営業を担当しています。東証一部上場の大企業から中堅中小企業まで、経営者を相手に企業の課題解決に資する提案活動を行う日々。関大空手道部で経験した課題解決力が活かされています。

平成24年卒 田中 克哉
浪速高等学校 出身
株式会社三井住友銀行 部長代理補



コーチの声

道場以外の場でも 部員であることに 誇りを持って。

思い出すのは楽しかった毎日。学校に来ると空手道部の仲間と授業を受け、昼食をとり、夕方からは道場で共に汗を流し、また仲間たちとご飯を食べる。泊りがけで旅行に行ったり、先輩・後輩の壁を越え、みんなでキャンプに行ったり、卒業旅行では海外にも行きました。本当にあっという間でしたが、私にとってかけがえのない最高の時間でした。現在は、第一希望だった関西大学の職員として勤務しています。学生の頃、先輩方と楽しく空手や食事をしている間に自然と身に

ついたマナーや気遣いが、私の強みとなっています。道着を着ていない時にこそ、関大空手道部員であると胸を張って言えるよう、これからも関大空手道部のブランドを守り続け、学生たちの成長と競技力の向上に全力を尽くしていきます。



平成29年卒 高橋 凌
宮崎第一高等学校 出身
学校法人関西大学 職員

関西大学空手道部の主な戦績

世界大会 全国大会 優勝の記録

〈全日本大学空手道選手権大会〉

- 第6回(昭和37年11月11日 大阪府立体育館)男子団体組手[優勝]
- 第12回(昭和43年11月17日 京都市立体育館)男子団体組手 優勝

〈全日本学生空手道個人選手権大会〉

- 第3回(昭和34年)男子個人組手[優勝](故 友寄 隆一郎)
- 第9回(昭和40年)男子個人組手[優勝]松崎 愛生
- 第12回(昭和43年)男子個人組手[優勝]津田 圭輔
- 第52回(平成20年)女子個人形[優勝]梶川 凜美
- 第53回(平成21年)女子個人形[優勝]梶川 凜美
- 第54回(平成22年)女子個人形[優勝]梶川 凜美
- 第55回(平成23年)女子個人形[優勝]梶川 凜美
- 第56回(平成24年)女子個人形[優勝]清水 希容
- 第9回(平成26年)モンテネグロ 女子個人形[優勝]清水 希容
- 第57回(平成25年)女子個人形[優勝]清水 希容

〈FISU世界大学空手道選手権大会〉

- 第6回(平成20年)オーランド 女子個人形[優勝]梶川 凜美
- 第7回(平成22年)モンテネグロ 女子個人形[優勝]梶川 凜美
- 第8回(平成24年)スロバキア 女子個人形[優勝]清水 希容
- 第58回(平成26年)女子個人形[優勝]清水 希容

主な入賞記録

〈全日本大学空手道選手権大会〉

- 第3回(平成34年)男子団体組手[第3位]
- 第23回(平成22年)女子団体組手[第3位]
- 第6回(平成25年)男子団体形[第3位]

〈西日本大学空手道選手権大会〉

- 第1回(昭和38年)男子団体組手[優勝]
- 第2回(昭和39年)男子団体組手[準優勝]
- 第3回(昭和40年)男子団体組手[第3位]
- 第4回(昭和41年)男子団体組手[第3位]
- 第5回(昭和42年)男子団体組手[優勝]
- 第9回(昭和46年)男子団体組手[準優勝]
- 第21回(平成20年)女子団体組手[準優勝]
- 第22回(平成21年)女子団体組手[第3位]
- 第25回(平成24年)女子団体組手[第3位]

〈全日本学生空手道個人選手権大会〉

- 第2回(昭和33年)男子個人組手[第3位]成山 信繁
- 第3回(昭和34年)男子個人組手[準優勝]田中 顕一
- 第4回(昭和35年)男子個人組手[準優勝]吉崎 勝
- 第5回(昭和36年)男子個人組手[準優勝]稲葉 久二
- 第5回(昭和36年)男子個人組手[第3位]並里 誠行
- 第50回(平成18年)男子個人形第[第3位]岸本 朋浩
- 第56回(平成24年)男子個人形第[第3位]堀庭 滉平

〈全関西大学空手道選手権大会〉

○男子団体組手

- 第1回(昭和33年)[準優勝]
- 第2回(昭和34年)[優勝]
- 第3回(昭和35年)[優勝]
- 第5回(昭和37年)[優勝]
- 第6回(昭和38年)[準優勝]
- 第7回(昭和39年)[優勝]
- 第8回(昭和40年)[第3位]
- 第9回(昭和41年)[優勝]
- 第10回(昭和42年)[第3位]
- 第11回(昭和43年)[第3位]
- 第12回(昭和44年)[第3位]
- 第13回(昭和45年)[第3位]
- 第26回(昭和58年)[準優勝]
- 第28回(昭和60年)[第3位]
- 第29回(昭和61年)[準優勝]
- 第30回(昭和62年)[準優勝]
- 第32回(平成元年)[第3位]
- 第52回(平成21年)[第3位]
- 第53回(平成22年)[第3位]
- 第54回(平成23年)[第3位]
- 第57回(平成26年)[第3位]

○女子団体組手

- 第21回(平成20年)[第3位]
- 第22回(平成21年)[第3位]
- 第23回(平成22年)[準優勝]
- 第24回(平成23年)[準優勝]
- 第25回(平成24年)[第3位]